



世界糖尿病デー



11月14日は、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日であり、糖尿病治療に画期的な発見に敬意を表し、この日を**世界糖尿病デー**として顕彰しています。

世界糖尿病デーは、現在、世界160カ国から10億人以上が参加する世界でも有数の疾患啓発の日となっており、この日を中心に全世界で繰り広げられる糖尿病啓発キャンペーンは、糖尿病の予防や治療継続の重要性について市民に周知する重要な機会となっています。

世界糖尿病デーのキャンペーンには、青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」が用いられますが、これは、糖尿病に関する国連決議が採択された翌年2007年から使われるシンボルマークです。

国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインし、「Unite for Diabetes」(糖尿病との闘いのため団結せよ)というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。国連及び主要国で様々なイベントが開催されます。わが国でも、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会が中心となって、各地で著名な建造物をブルーにライトアップして、街頭での啓発活動を実施しています。



福岡市でもイベントが開催されます！！

是非、参加して、家族や大切な人と一緒に糖尿病について考える、いい機会にしてみませんか？

世界糖尿病デー11/14(月)には福岡市役所庁舎1階にてイベント、11/19(土)に旧福岡県公会堂貴賓館にてブルーライトアップを行います。

また、世界糖尿病デーに合わせて、11/6(日)には「ふくおか市民糖尿病教室」も開催されますので、ぜひ参加を！！

名称	世界糖尿病デー2016 ブルーライトアップFUKUOKA
日程	2016/11/19(土)
内容	ブルーライトアップ 18:00～点灯式
場所・日時	旧福岡県公会堂貴賓館 18:00～21:00
備考	11/14 10:00-16:00 [福岡市役所庁舎1階] ミニレクチャー、自己血糖測定指導&健康相談、展示・パネル ・フードモデル、小冊子の配布を実施

ふくおか市民糖尿病教室

第40回 ふくおか市民糖尿病教室

「12時30分」開会式

「12時45分」基調講演「糖尿病から腎臓を守るために大切なこと」

講師：鶴屋和彦先生(九州大学大学院包括的腎不全治療学准教授)パネルディスカッション「看護、薬剤、栄養のプロが教える腎臓への思いやり」

パネリスト：鶴屋和彦先生(九州大学大学院包括的腎不全治療学准教授)

桃坂真由美氏(九州大学病院慢性疾患看護専門看護師)

南晴奈先生(九州大学病院薬剤師日本糖尿病療養指導士)

黒川早苗氏(博腎会病院栄養管理部主任 管理栄養士)

「14時10分」ストレッチ体操日本健康運動指導士会福岡県支部

「14時30分」体験コーナー(メディカルチェックや医療相談などあり)

「16時00分」終了

11月6日(日)

場所：あいれふ

受付は1階 12時～

参加費は無料です！



《宅配食のご案内》

日時：11月11日(金)

内容：クリニック2階

時間：11:30～13:30

場所：クリニック2階

料金：1000円+集団栄養指導料

(3割負担で240) ※要予約

《お散歩のご案内》

日時：11月16日(水)

集合：10:00クリニック

行先：福岡市動物園(仮)

